

平成 29 年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史 B	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	「詳説日本史改訂版」 (山川出版)						
副教材等	詳説日本史図録第 7 版 (山川出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・授業の目標は、「授業の主役であるわたしたち (生徒) が主体となり、協同性・社会性を身につけ、問題解決能力を養う」ことです。
- ・授業は「クラスメイトとの信頼と絆」を大切にすること、「日本史を学ぶ、日本史で学ぶ」意識を持って取り組んでください。
- ・AL (アクティブラーニング) の手法を用いて授業を行います。生徒の皆さんがアクティブに活動する時間を確保するため、教員による講義 (説明) は極力短くします。そのために授業では「KP 法」 (紙芝居プレゼンテーション) という手法を用いて講義を行います。
- ・授業ごとに、見える評価 (ルーブリック評価) を意識し、評価方法が皆さんにわかるようにレジュメを作成します。
- ・授業ごとに「本日の問い」を設定します。この質問は、いわゆる「絶対解」のないものを設定しますので、その回答を自分なりに考え、また他者と共有しながら「振り返りシート」の作成をしてください。
- ・各学期に小テストを 3～4 回行います。計画的に勉強してください。小テストの成績は平常点の一部となります。
- ・パフォーマンス評価として、生徒の皆さんには授業の開始後に、KP 法を用いた「前時の復習プレゼンテーション」をしてもらいます。平常点の一部として評価をします。
- ・教科書を読み込んだり、web コンテンツ等を利用してあらかじめ予習ができていると、学習効率は格段に向上するので、自分で目標設定をして取り組んでください。

2 学習の到達目標

- ・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
- ・近現代史における諸課題を現代と結びつけながら主体的に考察することができる。
- ・他者と協働しながら、歴史的問題を考察することで現代における問題解決能力を養う。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	近代史を中心とする日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代社会の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近代史を中心とする日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読みとったり図表などにまとめたりしている。	近代史を中心とする日本の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。

評価方法	ワークシート 〔主題課題〕 振り返りシート	定期考査 小テスト 〔主題課題〕 前時の復習プレゼン テーション	定期考査 ワークシート 〔主題課題〕 前時の復習プレゼン テーション	定期考査 〔主題課題〕 振り返りシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	幕府の衰退と近代への道	<p>* 欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を考察する。</p> <p>* 近代化の基盤の形成について、産業経済面や軍事面などに着目して、雄藩の浮上という地方からの視点から考察する。</p>	○	○		○	<p>a: 列強の接近に伴う諸事件による鎖国政策への批判や寛政の改革・文化文政時代・天保の改革における失政を踏まえて、幕府の衰退をみようとしている。</p> <p>b: 設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 ワークシート 振り返りシート

開国と幕末の動乱	<p>* 国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、開国から明治維新に至るまでの過程を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。</p> <p>* 幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一掃に至るまでの経過を理解する。</p>	○	○	○	○	<p>a: 開港による経済・社会の情勢変化に着目して、公武合体、尊王攘夷、倒幕の動きなど政局への影響を考察し、意欲的に追及しようとしている。</p> <p>b: 設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</p>	<p>定期考査 ワークシート 振り返りシート 小テスト</p>
明治維新と富国強兵	<p>* 明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を考察する。</p> <p>* 欧米の文化・思想の導入と一連の近代化政策に対する反動としての士族反乱・農民一揆の失敗と、言論による要求実現への転換を理解する。</p> <p>* 明治初期の対外政策について、欧米への対応と、アジアに対する外交政策の違いについて考察する。</p>	○	○	○	○	<p>a: 近代化政策や欧米文化の導入について、国民の間に受容と反発があったことや国外の動向に対する理解を深め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 国境画定を含む明治初期の外交政策について、欧米諸国への対応とアジア諸国への対応の違いを多面的・多角的に考察し、その経過や過程を適切に表現している。</p> <p>c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 藩置県・徴兵制・四民平等・秩禄処分・地租改正・殖産興業政策に着目して、明治政府が中央集権体制を構築していく過程について理解し、その知識を身に付けている。</p>	<p>定期考査 ワークシート 振り返りシート 小テスト</p>

2 学期	立憲国家の成立と日清戦争	<p>* 政府の強力な中央集権体制の志向の中、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。</p> <p>* 東アジアをめぐる国際環境が変容するなか、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について考察する。</p>	○	○	○	○	<p>a: 立憲国家の成立過程と日清戦争の背景について理解し、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 ワークシート 振り返りシート 小テスト
3 学期	日露戦争と国際関係	<p>* 開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を諸外国の動向と関連付けて考察する。</p> <p>* 立憲体制成立後から桂園時代に至るまでの国内政治の動きを、政党と藩閥の対立と協力の視点から考察する。</p>	○	○	○	○	<p>a: 日露戦争発生の背景とその後の国内情勢について理解し、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 ワークシート 振り返りシート 小テスト

近代産業の発展	*日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して考察する。	○	○			a:殖産興業政策に際しての国内の影響について、社会主義運動の発生を踏まえながら意欲的に追究しようとしている。	定期考査 ワークシート 振り返りシート 小テスト
	*近代産業の発展に伴う社会問題(労働問題・公害問題)の発生と政府の対応について考察する。	○		○	○	c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。